師の古稀を賀して

此君のまくらそよし竹の秋　遊之

実枝をさへ根よりほつ床の菊　錦赤

朝日さや若郎しも栽ふ七曲里　二水

喚ひちよ代の声よしや神の力　錦石

手折りて若も入らし豆の末　此品

我もはしも言立を召つ菊乃酒　禾丸

百とせ老のせりは張ものとかや数　申之

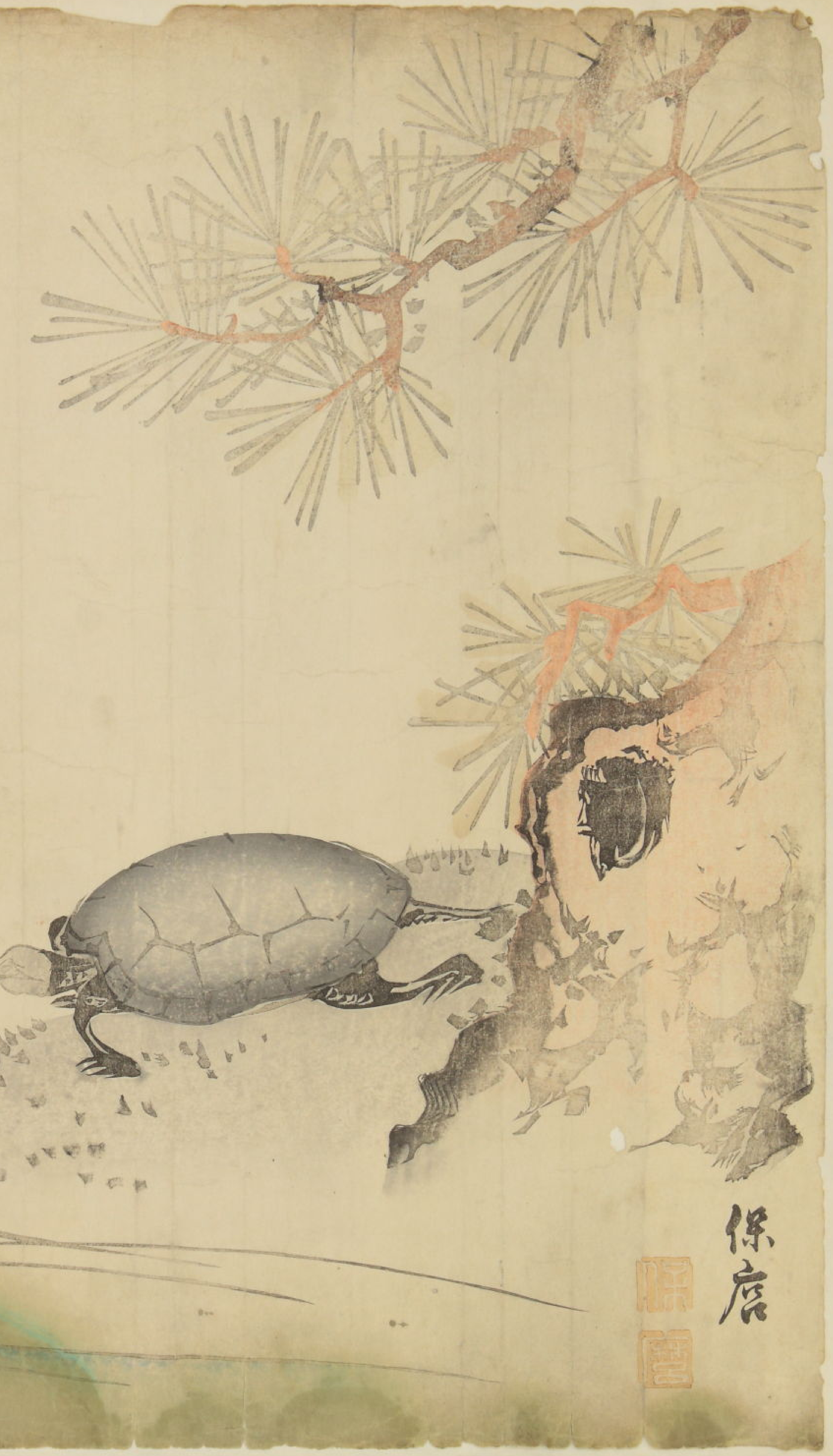
芽ひにかゝる孫しくや翁草　鹿友

根をはじめ実りて見るも千年の竹　素石

松一木かゝらぬ縁や秋乃門　精枝

保川の色紀花の芳もすや薮草　錦局

社中より古稀の賀を師乃許にも
今歳の七十の秋を祝して

此川をも暖かに綿より豊の稲　錦枝

藤さえ紀色千とく草と紀乃
きくとしも根をかまはなり　仝